

忘れられない思い出

下吉田中学校

遠山 莉央

私が今回派遣事業に参加しようと思った動機は私の将来の夢にありました。

私の将来の夢は、中学校の英語の先生になることです。それは英語の授業で日々新しい表現の仕方を学ぶ中でどんどん知識が増え自分の思っていることを伝えられる楽しさを感じた事がきっかけです。また、自分の感じた楽しさを多くの人に広めたいと思ったので学習する中で最初に英語をしっかりと学ぶ事のできる中学校の英語の先生になりたいと思うようになりました。

そんな自分の夢が固まりつつあった時、この派遣事業に出会いました。なので、私はすごく楽しみであり不安な気持ちはありませんでした。でもせっかくのこのチャンスをただ楽しかったで終わらせたくなくて、二つの目標を立てました。

一つは、初対面でも人見知りせず積極的に自分から話すことです。一日目に初めてファミリーと会った時は笑顔で自分から話しかけることができました。しかし次第にファミリーの話すスピードと量についていけずに何を聞かれているのか分からなくなる事がありました。その日の夜は自分の英語力が全く発揮できない無力感とファミリーとうまく解けこめない孤独感で少しホームシックになりかけていました。しかし、このままではせっかくの五日間が台無しで目標も達成できないと思い、次の日からはもう一度聞き返したりして、しっかりと会話しコミュニケーションをとる事ができました。すると次第にファミリーとの距離も縮まり、色々な場所へ連れて行ってもらう中で言語の壁を感じずに全力で楽しむ事ができました。

もう一つの目標はリアクションをとることでした。外国の人はみんなオーバーリアクションだと聞いていたけど実際に行ってみると本当にそうで、些細な事でも笑ってくれるし、とても話しやすくて、自分も真似してみるとさらに会話も弾んでそういうところでは日本人よりもコロラドの人の方がずっと温かくて優しいと思いました。

たくさん学び、発見のある九日間を過ごしたうえで分かった事は、やってみなければわからないということです。実際にコロラドに行かないとわからない事もたくさんあったし、この教訓はきっとこれからの私の人生を素晴らしいものにしてくれると思います。そして、この忘れられない九日間は私の財産であり、私の夢にきっと役立ってくれる日が来ると思います。なので、この経験を活かして夢に向かって頑張っていきたいです。